



図書館だより

No. 30

●「私の学生時代における 図書館の思い出と本との出会い」

学事センター長 理工学部 情報理工学科教授 伊呂原 隆

●Making Use of JapanKnowledge Lib in the Classroom and Research 国際教養学部 国際教養学科 教授 Gramlich-Oka Bettina

●教えて! ソフィアンくん

～ 第13回 どんなときにどの資料? —情報の種類と特性—



「私の学生時代における図書館の思い出と本との出会い」

学事センター長
理工学部 情報理工学科教授
伊呂原 隆



もう随分前の話になるが、私の学生時代における図書館の思い出を記憶の範囲内でご紹介させていただく。私が積極的に図書館を利用するようになったのは高校生の頃である。自宅近くの県立図書館が私の居場所で、学校帰りにほぼ毎日立ち寄り、「蛍の光」が流れるまで居座っていた。週末や学校の長期休暇中は開館から閉館まで1日の大半を図書館で過ごした。勉強が捗ったという側面もあるが、図書館の静寂さ、本の香り、そして多くの本＝「世界の叢智」に囲まれたような気分になれる心地よさが私を図書館へ誘っていたのではないかとと思われる。

高校時代にたまたま手にした本が自分の専門分野を決める大きなきっかけになった。大坪檀^{まゆみ}『技術者のための経営学』（講談社/ブルーバックス）がその本である。漠然と理系志望とは思っていたものの、具体的には何が自分に向いているのか決めかねていた頃だった。この本には「理系の技術者であっても経営を知らなければ役に立たない」と書かれていて、「経営を考えるのは文系」と思い込んでいた高校生の私にとって衝撃的であった。同書の「最近の経営学は高度な数学を駆使するので、どちらかと言えば理系の人に向いている」というような説明に、数学好きであった高校生の私にはこれこそが自分の目指すべき方向だと思い、現在も専門とする「経営工学」を志すことになった。

大学進学後は、平日の授業がない時間帯は大学の理工学部生向けの図書館で長時間を過ごした。図書館から授業へ行き、授業が終われば図書館へ戻り、勉強したり、

新聞や一般の本を読んだりするような生活であった。この図書館は理工学部生向けであるにも関わらず様々なジャンルの本が揃っていた。学部入学頃に読んだ本では、竹内均『学問への憧憬』（学部地下1階/289.1:Ta673）、森本哲郎『学問への旅』（学部地下1階/104.9:Mo556）、湯川秀樹『旅人』（学部地下1階/280.8:N761:v.33）などを特に印象深く覚えている。これらの本を読み、少なくとも20歳代は徹底的に学問を究めたいと思うようになった。

またその時代から今に至るまでずっと読み続けているのは英国の作家ジェフリー・アーチャーの作品である。ふと手にした彼の本がきっかけで、それまで興味がなかった「小説」というジャンルにも魅力を感じるようになった。『ケインとアベル』、『ロスノフスキ家の娘』、『チェルシー・テラスへの道』、『遥かなる未踏峰』等々、最近では『クリフトン年代記・第1部～第7部』等（全て新潮文庫）、いずれの作品も構想力、表現力、洞察力に感嘆するばかりである。

大学院進学後は、大学院生向けの図書館で論文と格闘する日々であった。研究室で実験やゼミを行う以外のほぼ全ての時間を図書館で過ごしたと言っても過言ではない。大学院生時代は始発で大学へ行き、終電で帰宅するような生活を続けたが辛いと思ったことはなかった。自分が研究している分野の最新・最先端の成果が次々と国際論文誌に掲載されるため、図書館で日々多数の論文をコピーして読み漁っていた時の知的興奮は今でも忘れられない。

以上が私の学生時代における図書館の思い出である。図書館の利用方法は人それぞれであり、唯一の正解というものは存在しない。しかし、こんなに素晴らしい施設を利用せずに学生時代を終えるのはあまりにももったいないと思う。何はともあれ、まずは図書館へ足を運ぶことを強くお勧めするとともに、またいつの日か私自身が学生時代のような図書館利用をできる日が来ることを願いつつ本稿の結びとする。



ここではFLAの岡先生に、データベース『ジャパンナレッジ Lib』の紹介をしていただきました。データベースを始めとする情報の種類については最後のページで確認してね!

Making Use of JapanKnowledge Lib in the Classroom and Research

Professor Bettina Gramlich-Oka, Faculty of Liberal Arts

Students when undertaking research for papers and assignments of their classes heavily depend on the internet. This is a mixed bag for a university library. Here, let me only focus on its positive development. The internet offers a new universe of information available to students with a few clicks, and librarians and publishers have come up with solutions to ensure that high standards accommodate the students' resourcefulness in tracking down easy-to-come-by information. For this reason, fortunately, even if students, particularly in the humanities may not pick up with their hands as many books and journals any more as previous generations used to, our library gives access to various electronic resources

(e-books and e-journals; <http://ax5kr6fu7r.search.serialssolutions.com/>) that replace the hike up to the stacks. Academic journals make up the majority of available resources for students to browse and read in digital form so that instructors can rest assured that students without any excuse are able to conduct their research in the proper academic environment. (VPN access lets them browse from off-campus! https://ccweb.cc.sophia.ac.jp/userguide/network/sv_04/)

But how to direct the students' dependence on the internet first-hand information about facts, events, and people that are reliable and helpful? If Wikipedia is not the place you want students to start and stop, here too the library has solutions. Let me introduce one web archive that is the place to go to when you want your students to work, I confess, mainly on Japan and its history: JapanKnowledge Lib (JK; <https://japanknowledge.com/library/>). JK is a commercial web archive that includes encyclopedias, dictionaries, reference books, and even entire sets of journals and collections that let us detect in one glance the meaning of key words and where they come up in sources.

JK has as its user certainly more those in mind who read and write Japanese, but the search function can be switched to an English page, so that there is no need to be afraid. Dictionaries, as I already mentioned, make up a large part of the collection and a guide informs you about the search function.

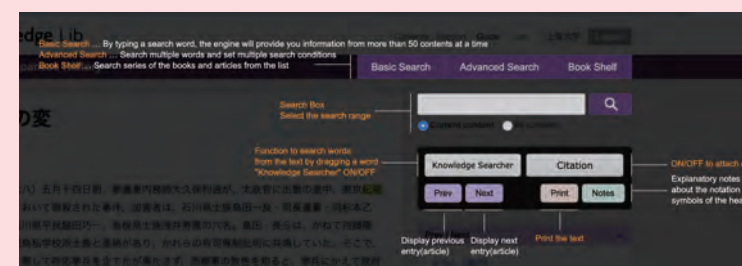


Figure 1. Guide for Japanknowledge

I doubt students need much help or instruction in navigating the page being quite savvy, so let us for fun consider the results when we search for 上智. Basic search:



Figure 2. Results for “上智.” (JK website.)

But more seriously, let us for instance investigate a topic from the past: the investigating of a scroll from the late medieval period, which was mentioned in class and a student takes up as the topic for a research paper. JK offers general facts about what is known about the scroll:

Search term: 酒飯論



Figure 3. Results for “酒飯論.” (JK website.)

We detect images and a list of references and all with a few simple clicks.

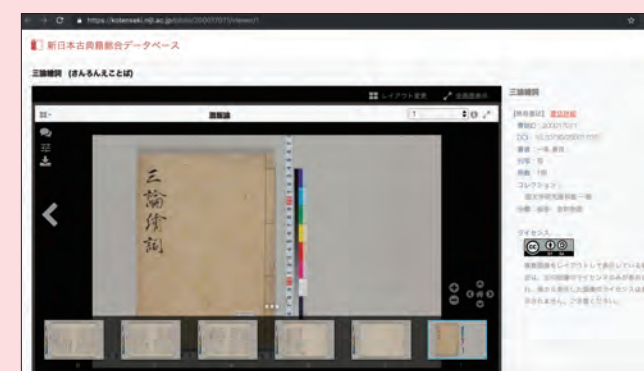


Figure 4–8. Results for “酒飯論.” (JK website and Kokubunken.)

The student can now begin to work on the project. My hope is that our library will subscribe to more extensions available through JK and other archives since the positive developments in the digital humanities can help us in the classroom. Resources that are not only for students but researchers too, since I, for instance, access JK daily in my function as editor of *Monumenta Nipponica*, where fact-checking is part of the job.

教えて!Q&A ソフィアンくん



～ 第13回 どんなときにどの資料? —情報の種類と特性—

課題が出ると、みんな図書館に資料を探しに行くよね。資料にはそれぞれ特徴があるんだ。目的にあった資料を探ることが、レポートを書くための第一歩。ぜひ、参考にしてね!

体系的



図書



データ
ベース



雑誌



新聞

速報性

図書って何?

現時点で評価の定まっている一定の研究成果を、系統的にまとめたもの。専門分野の基礎知識をまとめたものや、辞書・事典のように言葉や事柄について解説したものもある。

検索ツール

上智大学図書館の図書を探すなら→OPAC
他機関の図書を探すなら→CiNii Books,NDL-Online など



図書は、基礎的(定説的)な知識を得たり、体系的に学ぶのに適しているんだね。
図書が電子化された電子ブックもあるよ!

雑誌って何?

一定の編集方針のもとに、複数の著者による記事や論文が収められているもの。図書に比べて速報性がある。

検索ツール

上智大学図書館の雑誌を探すなら→OPAC
他機関の雑誌を探すなら→CiNii Books,NDL-Online など



雑誌は、最新の研究結果や調査結果について学ぶのに適しているんだね。
雑誌が電子化された電子ジャーナルは、冊子体よりも早く公表されたり、電子ジャーナルのみで論文が公開される場合もあるよ!

データベースって何?

ある特定の情報(論文や記事など)を編集・保存して、コンピュータで効率的に検索できるようにしたもの。

検索ツール

図書館では多様なデータベースを取り揃えています。詳しくは図書館HPで。

統計、判例、辞書、雑誌や新聞の論文・記事など、いろんな情報を検索できるなんて、データベースって凄いわね!



それぞれの検索ツールには、図書館HP「情報検索」のページからアクセスできるよ。用途にあわせて、いろんな資料を活用してね!

新聞って何?

多様な社会情勢を、日々記録しているメディア。速報性が高い。総合紙(全国版・地域版)、専門紙(業界紙・各種団体紙)などがある。

検索ツール

新聞(紙媒体)を探すなら→OPAC [新聞(紙媒体)だけでなく、マイクロフィルムや縮刷版の所蔵情報もわかります。] 新聞記事データベースを探すなら→図書館HP>情報検索>新聞記事・ニュース検索

新聞は、最近話題のできごとや、過去の世相などを検索するのに最適だね。
ただし、速報性を重視する反面、事実確認が曖昧なまま、記事になってしまうことも。また、新聞社によって個性の違いもあるんだ。事件が起きた数日後の記事や、複数の新聞を読み比べることが大切だよ!



叡智が世界をつなぐ



上智大学
SOPHIA UNIVERSITY

上智大学図書館だより No. 30

発行所 上智大学図書館

〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1 TEL:03-3238-3510 FAX:03-3238-3139

発行日 2019年10月1日

印刷 三鈴印刷株式会社 TEL:03-5276-0811